

# 平成31年度事業報告

## 1 法人の概要

### 1) 沿革

昭和15年	12月28日	財団法人村上学園設置認可
16年	4月1日	布施高等女学校開校
22年	4月1日	布施高等女学校附属中学校開校
23年	4月1日	新制高校の発足により布施学院高等学校と改称
24年	2月15日	布施女子高等学校、同中学校と改称
26年	3月13日	財団法人村上学園は学校法人村上学園となる
28年	4月22日	学校法人村上学園布施女子高等学校附属幼稚園開園
38年	4月1日	学校法人村上学園柏原女子高等学校開校
39年	1月25日	学校法人村上学園柏原高等学校と校名変更、男子部を併設
40年	1月25日	布施女子短期大学（42年4月、東大阪短期大学と校名変更） 家政科設置認可を得、開学
41年	1月25日	布施女子短期大学保育科を増設
43年	4月1日	家政科を家政学専攻と食物栄養学専攻に分離認可
44年	4月1日	保育科を幼児教育学科に改称（47年3月廃止）
45年	2月9日	児童教育学科設置認可を得、同年4月1日開設
45年	4月1日	家政学専攻を服飾デザイン専攻に改称 柏原高等学校、女子部を廃止
48年	4月1日	児童教育学科を初等教育学と幼児教育学に専攻分離
63年	3月31日	東大阪中学校廃校認可を得、廃校
平成11年	7月28日	児童教育学科の初等教育学専攻の募集停止届出
12年	3月1日	家政学科に生活福祉専攻設置認可を得、同年4月1日開設
13年	3月31日	児童教育学科の初等教育学専攻廃止届出
13年	5月15日	校名変更認可、平成14年4月から東大阪高等学校を敬愛女子 高等学校と改称
14年	4月1日	児童教育学科を幼児教育学科に、服飾デザイン専攻を生活デザ イン専攻に名称変更
14年	12月19日	東大阪大学設置認可、平成15年4月1日開学 校名変更認可、平成15年4月から東大阪短期大学を東大阪大 学短期大学部と改称
15年	1月24日	校名変更認可、平成15年4月から東大阪短期大学附属幼稚園 を東大阪大学附属幼稚園と改称
15年	4月1日	東大阪大学こども学部こども学科開学
18年	4月1日	敬愛女子高等学校を東大阪大学敬愛高等学校に名称変更 柏原高等学校を東大阪大学柏原高等学校に名称変更 東大阪大学短期大学部家政学科を健康福祉学科に、食物栄養学 専攻を健康栄養専攻に名称変更 家政学科生活デザイン専攻を平成18年度より募集停止
19年	3月31日	家政学科生活デザイン専攻廃止届出
22年	3月31日	東大阪大学敬愛高等学校商業科廃止
22年	4月1日	健康福祉学科を健康栄養学科に名称変更 健康栄養学科生活福祉専攻を平成22年度より募集停止
23年	3月31日	健康栄養学科生活福祉専攻廃止
23年	4月1日	東大阪大学こども学部アジアこども学科開設
28年	4月1日	東大阪大学短期大学部健康栄養学科を実践食物学科に、幼児教 育学科を実践保育学科に名称変更
30年	4月1日	東大阪大学短期大学部介護福祉学科開設



## 5) 教職員の概要（令和元年5月1日現在）

	教 員		職 員		合 計
	専任	非常勤	専任	非常勤	
法人部門	0	0	10	10	20
東大阪大学	25	20	14	7	66
東大阪大学短期大学部	34	40	16	5	95
東大阪大学敬愛高等学校	44	11	7	3	65
東大阪大学柏原高等学校	49	13	11	7	80
東大阪大学附属幼稚園	18	0	5	5	28
合 計	170	84	63	37	354

## 2 平成31年度事業計画における進捗状況等

### 1. 評価育成制度

教職員が4つの分野で目標を設定し、中間面談を経て、最終面談で自己評価と目標達成度を校長が評価し、5名の優秀な教職員が理事長より表彰された。

### 2. 教科指導の充実（学力定着に向けて）

- ・毎週金曜日課題を与えて英・数・国の小テストを実施した。
- ・学期ごとに基礎力診断テストを実施し、成績優秀者を表彰した。
- ・Step Up Note を生徒全員に持たせ、日々の生活や学習記録を記入させ、担任がチェックした。

### 3. 生徒指導（問題行動の指導）について

- ・指導案件数は、昨年度とほぼ同数であった。規範意識は、年々向上していると言える。ただ、留学生の指導案件が若干増加傾向にあり、留学の意義・規範意識の見直しが必要である。
- ・平成28年度から導入したイエローカードによる指導の効果が顕著に現れ、問題行動同様、イエローカードによる指導も前年より3割強減少した。
- ・今年度は、生徒会の取り組みに多くの生徒が賛同し、生徒一人ひとりが規範意識を持った行動をとってくれたことが大きな成果であった。

### 4. 生徒会活動について

#### イ) 体育祭・スポーツ大会

- ・大半の生徒が意欲をもって取り組んでいた。
- ・体育祭は雨天延期で、平日開催にもかかわらず保護者が多数来校いただいた。

#### ハ) 敬愛祭・前夜祭

- ・来場者1580名（昨年度1480名）あり、大いに盛り上がった。生徒・保護者の感想も満足度の高いものだった。
- ・前夜祭が雨のため、途中中止となったことが残念であった。

#### ニ) クラブ活動

- ・陸上競技部、空手道部、柔道部の活躍は例年通り好成績であった。
- ・体育館でのクラブ・サークル活動が盛んになり、クラブ加入生徒数が増加した。

## 5. 進路指導について

### 令和元年度の進路状況

在籍人数 259名

コース		在籍	四年制 大学	短期 大学	専門 学校	就職	留学	大学 受験中	家事
普通 科	総合進学	177	85	3	52	26	5	4	2
	こども学	31	9	15	3	4	0	0	0
	調理・製菓	51	8	18	18	7	0	0	0
合計		259	102	36	73	37	5	4	2
%			39.4%	13.9%	28.2%	14.2%	1.9%	1.5%	0.7%
			81.5% (進学)						

今年度の進路状況は、昨年度と比べ、進学者割合が 78.3%から 81.5%と増加し、就職者割合も、13.4%から 14.2%と若干増加した。

進学について、四年制大学への進学率が微増し、短期大学・専門学校への進学率が若干減少した。また、内部進学者数は、45名と微増であった。

就職については、内定者が 37名で、例年通り、夏休みから企業見学に参加し、受験先決定へと繋がっている。

## 6. 入試広報について

### イ) 入試結果

	OS	入説	志願者		入学者
令和元年度	1111	678	専願	149	192
			併願	521	

### ロ) 中学校訪問

- ・ 6人の生徒募集係が約 40～80校を年 2～6回訪問した。
- ・ 多数の生徒は隣接市からの通学であることから、今後も地元集中した訪問が大切である。
- ・ 東大阪市 6校から進路説明会に呼んでいただき、直接中学 3年生に学校紹介ができた。
- ・ 入学者数は微増ではあったが、入試成績は例年よりも高かったのが、今年度の特徴といえる。

### ハ) 塾訪問・塾長対象入試説明会

- ・ 今年度は募集係+事務で 1人 10塾～50塾を担当した。担当塾は、在校生の出身塾、地元を中心に回った。
- ・ 塾長対象入試説明会を数年ぶりにホテルで実施した。

### ニ) オープンスクール・入試説明会

- ・ 昨年度の参加者約 1700名と比べ、今年度は約 2000名と増加した。
- ・ 今年度のオープンスクール手伝い生徒は非常に協力的な生徒が多く、アンケートでも生徒を褒めていただくことが多くあり、大変ありがたかった。
- ・ 公立高校もオープンスクールに力を入れている傾向になり、中学生にとってはオープンスクールを自身の進路と結びつけるというよりは、楽しい体験型のイベントとして捉えているのではないだろうか。そのために、一人の中学生が多くの学校のイベントに参加していると考えられる。1回のオープンスクールで魅力を伝えていけるよう内容を検討しなおす必要がある。

### ホ) 私学展や相談会

- ・ 私学展は 7～8人体制をとった。今年度は入試広報部の先生だけでなく、多くの先生方の協力をいただいた。

## 7. 各コース

### イ) 総合進学コース

- ・ 未来につながる選択科目「敬愛講座」になるように科目を改定した。  
敬愛講座 A「アドバンス国・英講座」「英語検定取得講座」「漢字検定取得講座」  
「ブラッシュアップ講座」「男女スポーツ講座」「サイエンスワールド」  
敬愛講座 B「パソコン検定講座」「世界遺産検定講座」「美術イラスト講座」
- ・ 学びのPDCAサイクルを確立させ、毎週金曜日にある小テストと学期に一回の学力テストを実施することにより進路指導の充実に結び付けた。
- ・ 「大学進学指導」の7限目補習の回数を増やし、より充実させた。
- ・ 特進クラスのカリキュラムを改訂し、定期考査の内容も変更し、受験に必要な学力をつけさせることにした。

### ロ) こども教育コース

- ・ 「キッズセミナー」例年通り、レク協会の講師の先生方に来ていただき、毎回の授業で良いものをたくさん提供していただけた。
- ・ 「レクレーション検定」今年度は10人（昨年度5人）の資格申請者があった。
- ・ 「東大阪大学講義」大学へ10人、短大へ16人の受講があり、単位を前倒しで取得できるのは大きなメリットがあった。
- ・ 「幼稚園実習」とても貴重な経験が出来ている。園児に接する際、授業とは別の生徒のいい顔が見られた。
- ・ 「リトミック実習」実際に園児たちと触れ合うことで、授業の意義を理解し活動への意識が一層高まった。
- ・ 「キャンプ実習」1日目現地に到着してからすぐに2、3年生が交流する機会があり、例年よりスムーズに打ち解けることができた。
- ・ 「ピアノレッスン」（全学年希望者）続けている生徒は発表会がモチベーションとなり、講師の先生方のおかげで成長した姿を見ることができた。
- ・

## 8. 調理・製菓コース

- ・ 「専門学校体験授業」  
本校と提携している“あべの辻調理師製菓専門学校”での授業見学では、イタリア料理、製菓（シュークリーム）などの講習を受け、試食をさせて頂いた。
- ・ 「職業体験」  
今年はミシュラン1つ星を獲得している店であるため、貴重な経験になった。
- ・ 「敬愛Café」  
昨年度と同じ食堂内で実施ということで、ものの配置や、人の動線など、運搬設置には問題なかった。1年生の役割をドリンク・ケーキ・ホール・会計に割り振った結果、授業で練習できたこともあり、例年よりも効率よく、実施出来た。
- ・ 「感謝の食事会」  
3年間の成果を“料理”という形で表した行事で、内容は保護者への感謝を伝えたムービー、代表生徒による感謝の言葉、食事会という流れであった。保護者から大変好評であったため、来年度からも食堂での実施を考えたい。
- ・ 「専門学校特別授業」  
2、3年1学期“あべの辻調理師専門学校”特別講義を受講した。2年生はパスタ、3年生はシュークリーム、マカロンを作った。2年生3学期には“大阪調理専門学校”特別講義で、握り寿司や飾り切りを学習し、普段することがない体験やプロの技術を初めて見て学べるのでとても良かった。
- ・ 「オリジナルカレー試食会」  
3年生による、オリジナルカレーの試食会を今年度初めて実施した。3年生は1からレシピを作成し、ルーなどは使用せず全てスパイスを調合しカレーを作った。

### 3 財務の概要

別添 平成31年度	資金収支計算書	
	事業活動収支計算書	
	貸借対照表	
	財産目録	
	監査報告書	参照